



震生湖と
寺田寅彦句碑

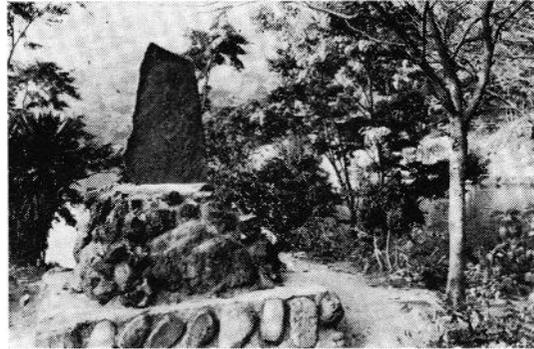
秦野盆地の南縁、秦野市今泉に震生湖があります。湖というよりはむしろ池と呼ぶのがふさわしいほどの大きさです。みぎわに、この湖の由来が次のようにしるされています。

震生湖

この湖は1923年（大正12年）9月1日の関東大震災の時洪沢丘陵が陥没し、谷川が堰き止められてできた堰止湖で、自然湖では日本で最も新しい湖であるといわれ、北西部の主湖盆と南東部の副湖盆の二つから形成されている。

海拔 150メートル

面積 13,000平方メートル（最大巾 85メートル
長径 315メートル）



周囲 約1,000メートル 最大水深 10メートル
平均水深 4メートル

二つの湖盆を分ける橋のたもとに、寺田寅彦の句碑がたてられ、湖畔に風情を添えています。

山さけて成しける池や水すまし 寅彦

この句碑は昭和30年9月1日の震災記念日に建てられたもので、小宮豊隆が揮毫しました。

（大井町 平野富雄）